

2021年10月資金需給予想

	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	主要項目	日銀調節
1(金)	0	▲ 19,900	▲ 19,900	2Y発行▲30000償還10900	国債補完1300・▲200
2(土)			0		
3(日)			0		
4(月)	400	▲ 42,500	▲ 42,100	消費税・法人税揚げ 年金保険料揚げ 社会保障 TB3M発行▲50000償還59300	国債補完200・▲100
5(火)	800	1,000	1,800		国債買入10700 CP買入▲100 国債補完100
6(水)	200	▲ 26,500	▲ 26,300	恩給 10Y発行▲26000	短国買入1000
7(木)	0	5,000	5,000		
8(金)	▲ 1,000	▲ 4,000	▲ 5,000	交付税借入▲11000期日11000 流動性供給発行▲5000	
9(土)			0		
10(日)			0		
11(月)	1,000	▲ 17,000	▲ 16,000	TB3M発行▲50000償還47300 TB6M発行▲34000償還18100	社債買入1300
12(火)	0	▲ 1,000	▲ 1,000		
13(水)	0	▲ 8,000	▲ 8,000	源泉税揚げ 社会保障 30Y発行▲9000	全店共通▲4000
14(木)	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 2,000		
15(金)	▲ 1,000	49,000	48,000	年金定時払い5Y発行▲25000 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲3000(見込)償還 1700 交付税借入▲11000期日11000	
16(土)			0		
17(日)			0		
18(月)	0	1,000	1,000	TB3M発行▲50000償還49300	CP買入5000
19(火)	0	2,000	2,000		
20(水)	▲ 1,000	▲ 37,000	▲ 38,000	TB1Y発行▲35000償還10500 20Y発行▲12000 エネルギー対策借入▲6500期日7000	
21(木)	0	1,000	1,000		
22(金)	▲ 1,000	0	▲ 1,000	交付税借入▲11000期日11000	
23(土)			0		
24(日)			0		
25(月)	0	3,000	3,000	TB3M発行▲50000償還52000 TB6M発行▲34000償還24400	社債買入800
26(火)	0	1,000	1,000	流動性供給発行▲5000	
27(水)	0	4,000	4,000		
28(木)	▲ 1,000	2,000	1,000		新型コロナ▲47200
29(金)	▲ 1,800	2,100	300		CP買入5000
30(土)			0		
31(日)			0		

計	▲ 5,400	▲ 85,800	▲ 91,200
---	---------	----------	----------

今月は、4日に税・保険料揚げ、13日に源泉所得税揚げ、15日に年金定時払いがある。

主な不足日（見込み） 1日、4日、6日、11日、20日 主に財政等要因

主な余剰日（見込み） 15日 主に財政等要因

◆日銀当座預金増減要因（2021年10月見込み）

出所：日本銀行

	見込み	前年実績	前年同月比
銀行券要因	▲ 5,400	▲ 3,620	▲ 1,780
財政等要因	▲ 85,800	▲ 170,034	84,234
国債等	▲ 107,300	▲ 118,989	11,689
国庫短期証券等	▲ 43,100	▲ 132,777	89,677
上記を除くその他	64,600	81,732	▲ 17,132
資金過不足	▲ 91,200	▲ 173,654	82,454

日本銀行が金融機関等から買入れた国債・国庫短期証券が償還を迎えた場合には、上表の国債等・国庫短期証券等の償還には含まれない扱いとなっている。

◆財政資金対民間収支（2021年10月中見込み）

出所：財務省

区分	見込み	前年実績	前年同月比	備考
一般会計	▲ 18,950	▲ 12,389	▲ 6,561	
租税	35,700	33,818	1,882	消費税・源泉所得税等の受入
税外収入	1,090	1,085	5	
社会保障費	▲ 22,160	▲ 23,009	849	後期高齢者医療給付費等負担金の支払等
地方交付税交付金	1,340	1,818	▲ 478	
防衛関係費	▲ 3,450	▲ 3,400	▲ 50	
公共事業費	▲ 2,600	▲ 2,682	82	
義務教育費	▲ 920	▲ 929	9	
その他支払	▲ 27,950	▲ 19,091	▲ 8,859	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付等
特別会計	▲ 59,910	▲ 57,051	▲ 2,860	
財政投融资	▲ 420	▲ 2,506	2,086	
外国為替資金	-	941	▲ 941	
保険	▲ 54,910	▲ 48,926	▲ 5,984	年金の定時払等
その他	-	-	-	
一般会計・特別会計等小計	▲ 78,860	▲ 69,439	▲ 9,421	
国債等	107,300	118,989	▲ 11,689	
国庫短期証券等	43,070	132,777	▲ 89,707	公募発行見込額約30.7兆円
国債等・国庫短期証券等小計	150,370	251,766	▲ 101,396	
調整項目	10	▲ 5,181	5,191	
総計	71,520	177,146	▲ 105,627	

◆2021年10月の主な不足日・余剰日の見込み

主な不足予定日は、1日（2Y発行超過、税・保険料揚げの前倒し）、4日（税・保険料揚げ）、6日（10Y発行）、11日（TB6M発行超過）、20日（TB1Y発行超過、20Y発行）。一方、主な余剰予定日は15日（年金定時払い）。

◆2021年10月の短期金融市場予想

●コール市場

主な揚げ要因に国債の発行超過、税・保険料揚げ等があり、主な払い要因に年金定時払い等が挙げられる。無担保コールO/N加重平均レートは、先月の流れを引き継ぎ、月前半は高止まりが続くと予想される。月後半は15日の年金定時払いを経て当座預金残高が大幅に増加するものの、特別当座預金制度の存在もあり、レートは高止まりが続くと考えられる。11日に発表される、10月積み期間に適用される基準比率は13.5%程度（9月は15.0%）を予想する。

●CP市場

9月末に残高を減らした事業法人の残高は回復方向にある。発行レートは、発行残高の多い銘柄では概ね0%近辺になると予想されるが、発行残高の少ない銘柄ではマイナス圏での推移が続くと見込まれる。

●短国市場

3M物が12月末を越えることに加え、3M物の発行量自体が減少していることもあり、レートは▲0.15～▲0.13%と買いが強く見られている。月初の3M物は▲0.15～▲0.13%程度、6M物・1Y物は▲0.12%前後での推移となっている。短国買入オペは引き続き最小限での実施が続くと見込まれるが、10月と11月は日銀が保有している短国の償還額がかなり多いこともあり、レート水準にもよるものの、どこかでオフアール額が増加する可能性も考えられる。短国の入札は、12月未越えの担保需要が意識されており、しっかりとした結果が続くと考えられる。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入